

保護者の皆様へ

西中田小学校父母教師会  
会長 針生 真由美

初秋の候、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より、西中田小学校父母教師会活動に対しまして、ご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、最近、子どもがいじめから自分で自分の命を絶つという新聞記事や報道番組などを目にします。先日、学校から市教委のメッセージ「市立中学校生徒の自死事案の発生と再発防止について」が配付されました。ご家庭でも、子どもと向き合って話をされたものと思います。

学校でも、休み明け直後に「生活アンケート」を実施し、子どもたち一人一人の状況を把握しているところです。私たち保護者も、いじめに関して学校任せにすることなく、学校と連絡を取り合いながら、子どもたちと家庭内で話をすることが大切です。子どもと話をする際は、次のような話を参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。



## 「大切ないのち」



365日子どもと一緒に過ごす時間が多いのは、母親です。

朝の挨拶のひとつのトーンだけで、子どもの心情を察してあげられます。もしも、「元気がないな」と感じたら、時間をかけてじっくりと話を聞いてあげてください。決して悲観的な言葉はかけずにただ頷いてあげてください。そして、痛みを共有し、一緒に閉ざされた心を開いてあげてください。一步一步子どもと前進出来る道を選択してください。その分岐点を乗り越えた先には、また新たな人生がある事を、精一杯伝えてください。自らの命を絶つという選択は、そこで人生が終わってしまう。その事のもったいなさを伝えてください。自分という存在は、この世でひとつ。その芽を摘んで自分自身を磨き続けていける事の素晴らしさを伝えてください。いじめは、一般的に、その人がいやだと思ふことを言ったりしたりすることです。

でも、人の気持ちというものは、わかりにくいものです。気づかずに相手を傷つけてしまうことがあります。それで、相手が嫌がっていないだろうか、同じことをされたら自分はどう感じるだろうか、よく考えながら行動することがとても大事になります。

友だちが辛い思いをしているとわかったら、絶対に繰り返してはいけません。悪ふざけや冗談がエスカレートしていくうちに、友だちを傷つけることもよくあります。友達みんなで注意しあって、そのようなことをなくしていかなくてはなりません。

さらに、いじめをうけている人は、誰にも言いたくない、知られたくないと思っています。何となく元気がないなあという友達には、「何かいやなことがあったの?」と、まわりの気づいた人が声をかけてください。

いじめを防ぐ、なくすために、学校の友達全員が「いじめNO!」という気持ちをもつことです。

毎日多くの保護者や地域の方々も頻りに西中田小学校に出入りして下さいます。子どもたちの挨拶や日常会話、校外まで響く日々の歓声などは、心身共に健康で、豊かな心情をもち、たくましい子どもとして成長してくれている証でしょう。

昨今のいじめ問題についても、学校内に多くの目が行き届くようになると、いじめの芽を摘み取ってくれることも多いはずと信じています。そのような学校であり続けるためにも、私たち父母教師会が担う役割も重要であり、子どもを常に活動円の中心に据え、学校と父母教師会は手を取り合える関係を築き、絶えず交流を働きかけていくことが大切だと思います。幅広い層が集う父母教師会が主体となって、学校を支えていきたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

そして、西中田小学校の児童のみなさんへ …

「あなたたちは、おかあさんが大切に10ヵ月お腹はらの中でまもり、とてつもない痛みいたと苦しみくるしみに耐えて産まれてきたことを・・・」 わすれないでほしい!